

## 第2回荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会 議事録要旨

開催日：令和6年5月8日（水） 14：00-16：00  
 場所：荒尾市役所 11号会議室  
 出席者：荒尾駅周辺地区バリアフリー基本構想策定協議会委員 15名  
 ※別紙出席者名簿のとおり  
 事務局：都市計画課：畑田課長、小宮課長補佐、前畑副主任  
 産業振興課：松尾課長、五藤係長、垂水副主任  
 総合政策課：中山課長  
 福祉課：浦浜課長

議事	内容
第1回協議会の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回協議会の振り返りを事務局から説明</li> <li>・説明に対しての反対意見は特になし</li> <li>・主な追加意見は以下の通り</li> </ul>
ご意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：車いすを利用される方が玉名駅や大牟田駅を使っておられる。オストメイトの話もご検討いただきたい。</li> <li>・委員：バリアフリーの従来概念である日常生活における障壁をなくすことはもちろん大事だが、心のバリアフリーも重要である。また、全ての年齢層に使いやすいものは時代とともに変わる。継続的に対応する場を設けていく必要がある。</li> </ul>
(1) 基本方針の設定について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本方針の設定について事務局から説明</li> <li>・説明に対しての反対意見は特になし</li> <li>・主な意見は以下の通り</li> </ul>
全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：日常の移動を捉え直していくことが荒尾市のバリアフリーにはよいのではないか。</li> <li>・委員：子どもたちが住んでみたいと思えるまちを作っていくというのも一つの考え方だと思う。バリアフリーの方針は安全・安心であるが、そういう視点も含めて多様なまちづくりをやっていく必要がある。</li> <li>・委員：バリアフリーの目的はそこに用事があって利用する人がいてこそだが、現状を見ると、車は通るが人通りが少ない。設備だけでなく交流、賑わいを創出しなければいけない。</li> <li>・事務局：エリア全体をバリアフリー化することは難しいため、体の不自由な方は通りやすいところを中心に通っていただくようなアナウンスの仕方があるのではないかと考えている。</li> </ul>
上位関連計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：バリアフリー法の第25条において、その他の計画との関連性について触れている条文があり、地域公共交通計画との調和が保たれたものでなければならないとされているため、上位関連計画として追加いただきたい。</li> <li>・事務局：地域公共交通計画の中でさまざまな取り組みを今後行っていく。さらに利便増進計画を、今回のバリアフリー基本構想と調整しながら策定していきたい。</li> </ul>

議事		内容
荒尾駅		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：長崎駅のような大規模な駅ではない中で、JR 九州として、どちらかという と小さな荒尾駅について、バリアフリーの計画に載せていただいたのは本当にあ りがたいと思っている。</li> <li>・委員：駅のエレベーターがバリアフリーの移動円滑化基準になっている 11 人や 15 人タイプのものでは、救急時のストレッチャーが入らない。ストレッチャーは 2m あり、20 人乗りのエレベーターなら搬入可能なので、エレベーターの規模も踏ま えて、安全・安心して利用できる荒尾駅に変えていただければよいと思う。</li> <li>・委員：鉄道事業におけるバリアフリーの考え方も時代とともに変わってくるので、 時代の流れに即した整備を行う必要がある。</li> <li>・委員：荒尾駅のバリアフリーが中心となるが、器ができて、そこを歩く人がいな いという問題がある。</li> </ul>
駅前広場	交通広場 歩行者広場	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：車いすで来られた方の物を持ってあげたり、介助してあげるような、駅が出 会いの場になり、観光客にも使いやすくて地元の人も使いやすい場所はバリアフ リーだと思う。</li> <li>・委員：グリーンランドは集客力があるので、そこだけで終わらずに荒尾市駅前から あらお海陽スマートタウンにも寄って回遊して帰るといった取り組みができればよ い。公共交通で回遊できるようにして、お客様が降りる場所はバリアフリー化され たところでスムーズな移動ができるようにしていきたい。</li> </ul>
	バス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：荒尾駅からバスの乗り継ぎのお客様は、長期休みのときに特に多い。移動が しやすいようにフラットに段差をなくす。あとは案内図やアナウンスを実施して、 利用しやすいようにできればよい。</li> </ul>
	タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：荒尾市の乗合タクシーである、おもやいタクシーは他地区にはない。低料金 で小回りが利いて、利用頻度が高くなってきている。これは荒尾駅に降りられる観 光客と荒尾市民の足の両面を兼ねている。</li> </ul>
2) 重点整備地区、生活 関連施設・経路の設定 について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・重点整備地区、生活関連施設・生活関連経路の設定について事務局から説明</li> <li>・説明に対しての反対意見は特になし</li> <li>・主な意見は以下の通り</li> </ul>
重点整備地区		<ul style="list-style-type: none"> <li>・委員：重点整備地区や経路の設定は難しい。このエリアを全部やろうと思うと相当 事業費がかかる。この中から主要なルートネットワークさせるということは大事 だと思っている。</li> </ul>

議事	内容
経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>委員</b>：経路について、おおよその方針はよいと思う。今回の重点整備地区を全部歩くわけではない。車いすの人も含めて、子どもでも安心・安全に歩けるところはどこかというのがうっすら見えていればよい。</li> <li>・ <b>委員</b>：安全・安心において、この区域は道路の歩道を広く、車道を狭くするという形で、賑わいという面でも横に並んで歩けると歩行者も視覚障がい者の方も安全である。道路は交通量が多いときにスピードが出せないような通行帯にしたほうが安全になると思う。</li> <li>・ <b>委員</b>：マウントアップすると切り下げて傾斜になっている箇所があり、車いすが車道側に転がると非常に危険である。設置に賛否あるが車が入らないよう安全な段差があるマウントアップはよい。切り下げ部は配慮が必要になるので、車いすの人たちにも現地を見ていただいたほうがよい。</li> <li>・ <b>委員</b>：あらお海陽スマートタウンには、公園が整備予定で周辺にないような遊具や緑地含めて 3ha の広さもあるので、新たな観光としての重要な拠点となるのではないか。そのため、主要道路のバリアフリーはきちんと進めていく必要がある。</li> </ul>
まち歩き点検	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>委員</b>：できるだけ多様な皆さんにご参加いただき、ご意見をいただきたい。今回だけでなく、日ごろからお話を聞いていき、できること、できないことはあるが、いろいろ聞いて徐々にやっていくことが大事である。</li> <li>・ <b>委員</b>：駅の近くに盲学校や障がい者の方々が通学しているため、声をかけて参加してもらおうのもあると思う。</li> <li>・ <b>委員</b>：参加出来ない万田小学校等の人たちに、日常利用していて不便なことや、要望があると考えるため、ヒアリング等で補填するのがよいのではないか。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>事務局</b>：まち歩き点検は協議会としては位置づけていないが、ご協力いただける方、道路管理者、事業者、改めて参加のお願いをさせていただく。</li> </ul>